

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	教育社会学 (Educational Sociology)		
ナンバリングコード	K10105	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	教職関係科目 (必修) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K007001	クラス名	-
担当教員名	石橋 修		
履修上の注意、履修条件	教職を志望しており、教職に魅力を感じ、教職に求められる役割を習得する意欲を有していること。教育に関する幅広い分野を学ぶので、新聞の教育記事などにも日常的に目を通す習慣をつけておくこと。なお、出席カードの配布以外に、毎回提出のミニレポートや振り返りシートでも出欠のチェックをします。予習・復習課題も毎回提出を求められるので授業開始前と授業終了後に提出・受け取りを忘れないでください。		
教科書	指定教科書はありません。毎回、授業内容に対応したプリント資料を作成・配布します。		
参考文献及び指定図書	酒井朗『よくわかる教育社会学』ミネルヴァ書房、2018		
関連科目	教育原理、教職概論等、教職に関する全科目		

○基本情報			
授業の目的	この授業の目的は、教師の資質・能力として不可欠な、①学校を取り巻く社会の変化をふまえ、教育政策の動向について説明できる。②公教育制度の基本事項、教育制度や教育行政に関して理解し、説明できる。③学校と地域の連携・協働の意義や経緯を理解し、説明できる。④学校における危機管理や安全対応の必要性や具体的取り組みを理解し、説明できる。以上の目的を達成するために学習評価の4観点を念頭に展開していきます。		
授業の概要	教育史や諸教育理論の把握を踏まえ、学校教育を中心に社会的、制度的観点から考察します。教育の意義や目的を念頭に、教育を構成する社会的諸条件を把握し理解しながら、教育行政、公教育制度の現状や課題を概観します。さらには、生涯学習社会における「開かれた学校」のあり方を検討しながら、学校と地域・家庭との連携や特色ある学校づくりや危機管理の必要性などにも説明を加えて講義を進めていきます。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	本授業に関連する高等学校教員(昭和56年4月～平成元年3月)として社会科科目を担当した実務経験をもとに実践的教育を行う。		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	教職の授業にふさわしい態度で、授業内容への興味関心を持ち、意欲的に学習できる。	10点	10点	
【知識・理解】	授業で扱う知識や事実について正確に理解し、自分なりの言葉で適切にまとめることができる。	30点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	学んだ内容に関する質問に適切に回答し、感想記録にも知識・理解の内容を十分に表現できる。	10点	10点	
【思考・判断・創造】	学んだことを振り返り、意味づけや自分なりの考察ができる。	10点	10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
<p>毎回、講義終了後に講義内容に関連した予習課題と復習課題を配布し評価します。</p> <p>また、ミニレポートや振り返りシートの記載内容や提出物の有無を考慮しながら、受講時の受講生仲間への配慮や、学びへの真摯さなど、教師として求められる資質について評価します。課題やレポートはチェック後に全体的な講評をしてフィードバックします。</p>	

○その他	
<p>授業に関連する質問や相談は、授業終了時と担当授業がない時間帯に研究室で受け付けます。また、不在時には研究室前の連絡版に伝言いただければ対応します。</p>	

## 2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	教育社会学 (Educational Sociology) 石橋 修	授業コード	K007001
<b>学修内容</b>				
<b>1. オリエンテーション</b> 15回開講する本授業の概略や成績評価基準などを、シラバスの説明とともに確認します。また、授業効果を図り、授業への動機づけ対応も考慮しながら、講義で扱う教育内容、教育方法にも言及します。				
<b>予習</b>	学校教育を取り巻く社会的背景に関連する予習課題プリントを配布しますので、次回までに作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間
<b>2. 学校教育を取り巻く社会的背景について</b> 急激に変化する現代社会における、子どもを取り巻く背景理解のための基礎資料を提示し、説明します。とりわけ、学校を取り巻く近年の様々な状況変化についての理解を促します。				
<b>予習</b>	現代の子どもを取り巻く実態に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに予習課題を作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間
<b>3. 現代の子どもに求められる教育指導とは</b> 子どもを取り巻く社会的変化の状況を踏まえながら、そこに求められる教育指導上の問題点を挙げながら、現代における指導上の課題を抽出し、検討を加えます。				
<b>予習</b>	日本における教育政策に関連する課題プリントを配布しますので、次回までに作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間
<b>4. 教育政策動向分析から見えるもの</b> 近年の教育政策について検討し、それぞれの理解や分析を通して教育政策の動向の理解を促します。様々な答申や法律を対象に動向分析も試みます。				
<b>予習</b>	子どもの権利条約に関連するプリントを配布しますので、次回までに予習課題を作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間
<b>5. 教育政策と子どもの権利保障</b> 国の教育政策の動向を踏まえながら、子どもの権利保障の観点から要請される施策や自治体レベルでの課題を諸外国との比較において、考察していきます。				
<b>予習</b>	公教育の基礎理解を促すプリントを配布しますので、次回までに予習課題を作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間
<b>6. 公教育についての基本的理解</b> 近代公教育思想の理解を促しながら、公教育の原理についての理解を促し、わが国の公教育制度の確立過程についても概観します。				
<b>予習</b>	教育と法に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに予習課題を作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間
<b>7. 公教育制度と教育法規について</b> 現代公教育制度と連動する教育関係法規についての理解を促すために、教育の勅令主義や法律主義の基本を押さえ、併せて教育に関する法体系を多角的に考察しながら説明します。				
<b>予習</b>	教育制度と教育行政に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに予習課題を作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間
<b>8. 教育制度と教育行政の関連</b> 公教育制度の確立過程の理解を踏まえたうえで、今日の教育制度を支える教育行政の理念や仕組みについて説明し、理解を深めます。				
<b>予習</b>	学級経営に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに予習課題を作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	教育社会学 (Educational Sociology) 石橋 修	授業コード	K007001
<b>学修内容</b>				
<b>9. 現代公教育に求められる学校経営とは</b> 今日、学校や教育行政において経営的観点からの動きが顕著であり、公教育の目的遂行に沿った経営の在り方を検討し、動向理解を深めていきます。				
<b>予習</b>	学校評価や学校改善に関する予習プリントを配布しますので、次回までに予習課題を作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間
<b>10. 学校評価とPDCAを考える</b> チーム学校という対応が要請される今日、説明責任が問われる状況にあり学校評価についての基本的理解は不可欠です。とりわけPDCAサイクルに基づく学校改善について説明し重要性を理解していきます。				
<b>予習</b>	学級経営に関する予習プリントを配布しますので、次回までに予習課題を作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間
<b>11. 現代における学級経営の在り方</b> 学校全体の教育目標を踏まえたうえで、子どもの居場所としても重要な学級づくりや学級経営についての具体的仕組みや効果的な方法について説明をし、理解を深めます。				
<b>予習</b>	学校と地域の連携に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに予習課題を作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間
<b>12. 学校と地域の連携・協働の必要性</b> 学社連携・融合が叫ばれるが、学校と地域の連携・協働は教育目的を達成する意味でも強調され展開されています。諸事例をもとに連携の意義や方法について学び、理解を深めます。				
<b>予習</b>	「開かれた学校」に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに予習課題を作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間
<b>13. 「開かれた学校」とは何か</b> 地域との連携に基づく「開かれた学校」づくりが展開されていますが、その意味や諸経緯を理解することを通して、グループワークも行いながら学校のあるべき姿を模索します。(コミュニティスクール等にも言及します)				
<b>予習</b>	学校における危機管理や安全対応に関連する予習プリントを読み、次回までに予習課題を作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間
<b>14. 学校における危機管理や安全対応の必要性</b> 学校の管理下における事件、事故、災害の実情を踏まえた危機管理に立脚した学校安全の目的や具体的な取り組みなどへの理解を深めます。				
<b>予習</b>	学校における具体的安全対応に関連する予習プリントを読み、次回までに予習課題を作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で取り上げた事項についての配布プリントを手掛かりに重要部分をまとめる作業をしてください。			約2時間
<b>15. 学校における具体的安全対応のについて</b> 生活安全、交通安全、災害安全についての理解や、学校を取り巻く新たな安全上の課題について説明し、安全管理や安全教育の観点からの具体的取り組みについても理解を深めます。				
<b>予習</b>	これまで扱った内容を補足する予習プリントを配布しますので、試験対策も含め、予習課題を作成してください。			約2時間
<b>復習</b>	本時で扱った内容に関連する復習プリント配布しますので、見直し、振り返りの作業をしてください。			約2時間
<b>16. 定期末試験</b> 15回分の講義内容について試験を行います。				
<b>予習</b>				
<b>復習</b>				